

グルーガンの選び方 — 用途から選ぶ —

- ◆ グルーガンには手の平サイズの小さなものから、大きなピストルのようなもの迄色々な機種があります、又溶かす温度も130℃の低いのから200℃を超えるものまであります。どれを選んだらよいかは次の条件で決まってきます。

選ぶのを間違えると、作業能率が上がらなかったり、トラブルの原因になります。

①作業内容

②接着する材料が何か、木、紙、プラスチック或いは金属など

③誰が使うのか、子供か大人か、女性か男性か

④作業場所は屋内か屋外か、屋外の場合電気が使えるか

- ◆ 作業内容から：

- ・手芸で布や紙、木などを貼り付ける作業を間欠的に行う場合：

- ・小さな、細かい作業では； 小型手の平サイズ、**G3H型、G3LT型**

- ・リースなど比較的大きな物は；**G5HS型、G5LTS型**

- ・段ボール箱の封緘などの作業を連続的に行う； **G200Pro型、GX600Pro型**
間欠的に行う場合； **G6H型**

- ◆ 接着する材料から；

- ・紙、木、布等であればどれも大丈夫です。

- ・プラスチックや金属等； **G200Pro型、GX600Pro型**

- ★グルースティックの材料を選ぶ必要があります、例**HPP4000等**

- ◆ 誰が使うのか；

- ・子供(小学校高学年以上)の場合には小型低温タイプ**G3LT型**。火傷の問題があるので高温タイプは絶対に不可。

- ・女性の場合には**G3LT型**か**G5LTS型**をお勧めします。但し手袋を着用すればどれもOK。

- ◆ 作業場所；

屋内で電気が使えれば問題ありませんが、屋外で電気が使用できないときは、ガス充填式の**GG500型**をお使い下さい。但しガスでは熔融能力が電気に比べて大幅に低下しますのでご注意下さい。

- ★ 溶かす力について

グルーガンは内部のアルミタンクと称する部分で溶かします、これにはヒーターが取り付けられており、このヒーターで加熱します。**内部で溶けたものを押し出して塗ります。**

押し出しながら溶かすではありません。又十分に溶けていないと接着力も出ません。

溶ける速度はこのアルミタンクの長さや内部構造に大きく依存します。内部構造が適切に設計されていて、長さが長いほど良く溶けます。

グルースティックの材質によっても溶ける速度が変わります、溶けやすい物、溶けにくいものがありますが、これについては別紙グルースティックの解説をご覧ください。

《アルミタンク》



G3H型 20W/100V
使用グルースティックは7mm φ



G200Pro型 160W/100V
使用するグルースティックは11mm φ